

小中高思い出サラ川【中高生の部】

山口県ベスト15決定!!

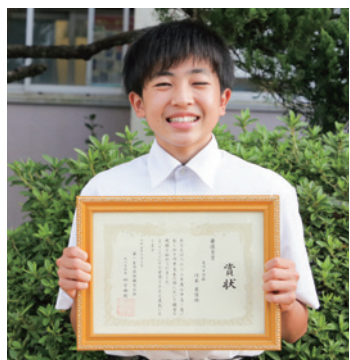
小中高合わせて380校からの参加表明・9,823句の中から選ばれた栄えあるベスト15の発表です!



かわもとことき
河本 昊隆 さん

2022年度小中高～思い出～
サラ川【中高生の部】
最優秀賞受賞

2年ぶり
小さくなったね
おばあちゃん



▲国語は苦手な方。これを機に、国語の成績をもっと上げたい。

ユーモアや世相を反映した川柳で知られるサラ川。このサラ川で、山口県内の小中高生から応募のあった9,823句の中から最優秀賞に選ばれた菊川中学校2年生の河本昊隆さんをご紹介します。

河本さんがこの句を作ったのは、中学1年生の国語の授業の時。コロナ禍でなかなか会えず、2年ぶりに会えたおばあちゃんが思い浮かんだそうです。「大阪に住むおばあちゃんに久しぶり

に会うと、自分の方が身長が高くなっていて何か変だなと思いました。今まで僕がおばあちゃんを見上げていたのに、逆になって。その時の気持ちを詠みました」

河本さんは、受賞の感動を真っ先におばあちゃんに伝えました。「おばあちゃんのことを詠んだ川柳が、山口県で1位になったよ」と伝えたら「背は高くなったけど、体重はまだまだだね」と喜びをユーモアで返されたそうです。



元気に輝かしい人生を



市長コラム / 希望の風 市長の部屋

「下関市は素晴らしい長寿社会を迎えています。誰でも100歳を目指す時代になったのです。皆さんがこのまちで元気に輝かしい人生を過ごしていただけるよう、下関市はしっかりとサポートしていきます。皆さんどうかお元気で！」会場はたくさんの方々の笑顔と和やかな雰囲気にもまれていました。皆さん、また来年もお会いしましょうね!

皆さんこんにちは！ 前田晋太郎です。新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが変わり、本市ではさまざまな行事が復活を果たしています。そこで今回は、先に行われた9月の敬老月間のお話をします。

まず、本市の今年度100歳を迎える方の人数です。なんと、151人！（過去最高）そして、そのうち男性は21人、女性は130人。ずいぶん差がありますね…。さらに、101歳以上の方は259人いますので、合計で410人となります（これも過去最高）。

なぜこれだけ長寿な方が、年々増えているのでしょうか。世代人口が単純に多いというだけではなく、医療の進歩や、皆さんの健康に対する意識が高まっていることも理由として挙げられると思います。それと、ストレスの少ない社会であることも重要です。

私は4年ぶりに行われた敬老の祝典のステージで、ご来場の80歳以上の皆さんに、こうお話ししました。